

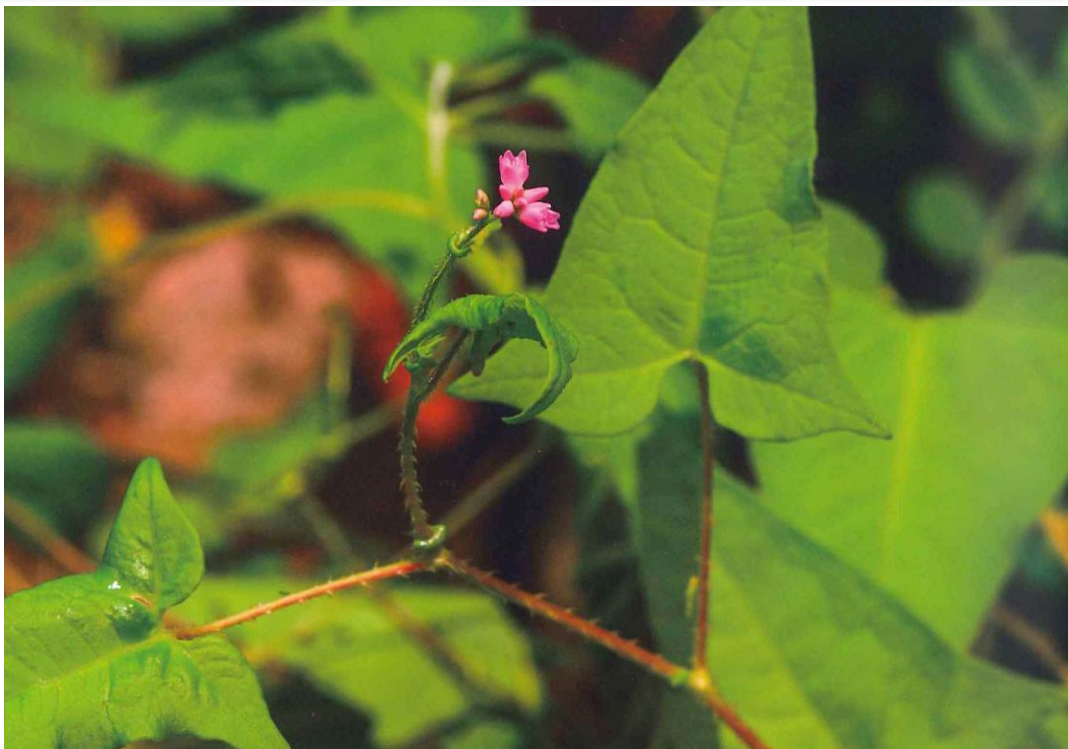


医療法人碧水会
汐ヶ崎病院

さざなみ

令和 4 年
秋季号
第 70 号

〒311-1115 茨城県水戸市大串町 715 番地
TEL(029)269-2226 FAX(029)269-4387
<https://shiogasaki.net>



岬
いま
継子ままこ
の尻しりぬぐい拭美し

写真：坂本 伸一郎

俳句：中村 恭子

目次 contents

- 表紙・目次 … 1P
- 当院での新型コロナウイルス
クラスターの経緯について … 2P
- ガーデン紹介 … 3P
- 院長の本棚 … 4P～5P
- レク行事紹介 … 6p
- スタッフルーム・
新任職員紹介 … 7P
- 診療案内・
汐ヶ崎ガーデン・
表紙解説・編集後記 … 8p

基本理念

わたしたちは、こころを病む方や家族の皆様にご安心いただけるよう、
よりよい精神科医療を提供し、地域に信頼される病院をめざします。

当院での新型コロナクラスターの経緯について

新型コロナ感染症（COVID-19）は世界中で蔓延している新たなコロナウイルスによる呼吸器系を中心とした感染症で、現在は市中感染症の状態ですが、特に、高齢者施設、病院などの感染症弱者の方が多くいらっしゃる場所での感染が繰り返しニュースなどの話題にのぼっています。

また、最近のオミクロン株では、子どもさん達にも感染しやすいことから、幼稚園から学校にも拡散しています。第7波といわれた今年8月頃の感染増加が数的には今までで最も多かったのですが、流行っている株の特性から比較的軽症ですむことが多かったようです。しかし、数的に多いと重症の方も相対的に多くなるのは避けられないことで、感染症に対応されている医療機関や行政の方のご苦労は大変なものであったろうと拝察いたします。また、11月に入り、第8波の襲来が取り沙汰されています。そうならないことを祈るばかりです。

さて、そのような中で、私共の病院でも、第7波のピークの時に病棟内での新型コロナ感染症のクラスターを経験し、その対応の中で、入院されている方ばかりではなく、外来に通院されている方々やご家族のみなさまにも面会の中止などを含め種々のご迷惑をおかけすることになってしまいました。この場をお借りして、お詫び申し上げますとともに、ご理解・ご協力いただいたことに、深く感謝申し上げます次第です。

当院でのクラスターは7月末の感染発生が推定され、その後8月に入って次々に発熱や咳嗽など有症状の陽性者が確認され、引き続きPCR検査・抗原検査などで無症状の陽性者の存在も確認されました。結局、当院の4つの病棟のうち3つの病棟に波及しました。入院中の方や病棟スタッフの多くが陽性となり、3週間以上経過した8月25日ようやく収束が確認されました。新型コロナ感染症の特徴である、症状発生前や無症状の時の感染拡散の存在と、新しい株が以前の株より相対的に感染力が強いことが、次々と拡散していく状況を作り出したと考えられます。幸い大多数の方の症状が軽症に止まり、また、中等症となった方と重症化リスクのある方は新型コロナ感染症のための抗ウイルス薬を服用することで重症化に至りませんでした。この感染クラスターの中、対応の努力をしていただいた当院スタッフの皆さんに改めてこの場を借りてお礼申し上げたいと思います。スタッフ諸兄姉の尽力に大変感謝しております。

新型コロナの流行はまだ続くことと思います。常に警戒するとともに、早期発見、早期介入を旨とし、対応していかなければならないと考えております。

病院長 高沢 彰

ガーデン 紹介

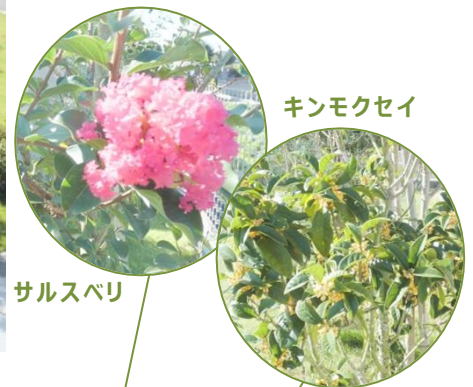
病院敷地内の植栽工事が完了してから、早や3年が経過しました。



その日の天候や季節などにより、芝生の状態も毎日変わります。晴れの日には青々としています。



花壇の寄せ植えも、季節ごとに変わります。
これから寒い季節に突入。
ガーデンも冬支度…でしょうか。



病院全体が緑に囲まれており、畑など近隣の緑とのコントラストと相まって、癒しの風景になっています。



家畜化という進化

人間はいかに動物を変えたか

白揚社

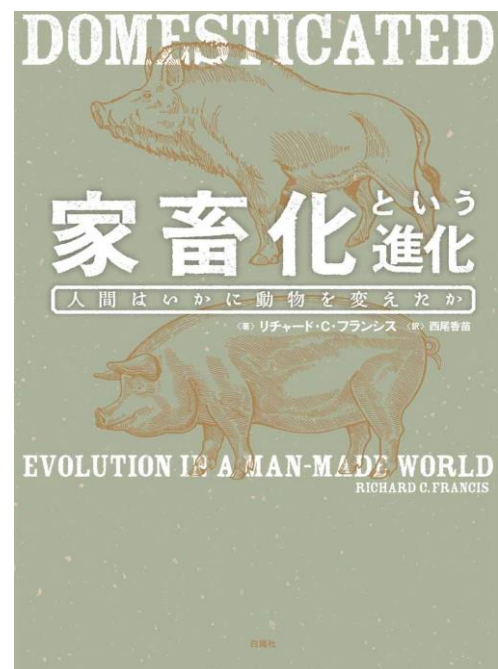
リチャード・C・フランシス著

動物の「家畜化」と植物の「作物化」は私たちヒトの文明には不可欠な出来事です。現代の文明があるのもこのおかげと言っても過言ではありません。さて、「家畜化」と聞くと、オオカミをイヌに、イノシシをブタに変えたなどいくつもの身の回りの動物たちのことを思い起こすことが出来ます。新石器時代を中心に起こった「家畜化」で世界で動物はどのように変わったのでしょうか。本書では、進化発生生物学やゲノム解析など最新に知識を元に、文明誕生の鍵を握る「家畜化」という進化を読み解いていきます。また、最近しばしば話題に上るヒトの「自己家畜化」についても最後に触れられています。

最初項目のギンギツネは実験的に行われた家畜化の実例としてあげられています。家畜化された動物を本書の目次順にあげてみましょう。イヌ、ネコ、ブタ、ウシ、ヒツジとヤギ、トナカイ、ラクダ、ウマ、マウス・ラット・モルモット。沢山いますね。中にはウシのように原種が絶滅してしまったものもあります。

「家畜化」の過程で特に注目されるのは「従順性」です。イヌとオオカミの違いで考えればわかりやすいのですが、脅威となる可能性のあるヒトに対して、攻撃や逃走ではなく、そばに落ち着いていられる、という形質のことです。また、従順性による人為選択により、直接関係ないように見える巻き尾や垂れ耳、広い顔幅、多様な体色、性的二型の縮小、繁殖活動の頻繁化などが「家畜化」された動物で共通に見られるのは、不思議な現象です。最後に、ヒトの「自己家畜化」について、向社会性を中心に語られています。これも示唆に富む視点だと思います。

人の手で進化が加速された「家畜化」という現象について、総合的に考えるきっかけとなる本だと思います。日頃当たり前目にしたり聞いたりする動物たちが家畜だった、ということあらためて認識させられます。



汐ヶ崎病院ホームページの院長ブログ（2022.7.14）にて、「院長の本棚番外編を始めます」とご案内しました。

ブログ内で、これまでに本誌で紹介した書籍をリストアップしています。



第1回～第6回まで紹介された本は、作業療法室内に「さざなみ院長の本棚コーナー」として設置しています。



また、院長の本棚番外編として、「意識の問題」に関する三著を院長ブログ（2022.8.4）で紹介しています。



- ・ 脳は世界をどう見ているのか
- ・ 動物意識の誕生
- ・ 意識はどこから生まれてくるのか

ご興味のある方はホームページもご覧ください。

レク行事紹介

各病棟のデイルームと OT 室に分散して鑑賞しました。

となりのトトロ、アルマゲドン、ワイルド・スピード、ペットの 4 作品を上映。



1 病棟の上映は「ペット」。デイルームに笑いが溢れていました。



体育館で秋祭りを開催。病棟単位で実施しました。

はじめに看護部長の挨拶、次によさこいソーランを披露。

カラオケ大会も大盛況。体育館の中はお祭りの雰囲気になっていました。



クレープ、たこ焼、わたあめ、ジュース、お菓子釣りの各ブースを楽しみました





名前：しらす
性別：メス♀
年齢：11歳（保護猫のため予測年齢）
種類：三毛猫
性格：臆病，何でも食べる，
紐で遊ぶのが好き

作業療法科
宮崎 美穂



名前：はるまき
性別：オス♂
年齢：10歳（保護猫のため予測年齢）
種類：雑種
性格：友好的，
好きなご飯しか食べない偏食猫，
抱っこ嫌い



名前：こしょう
性別：メス♀
年齢：3歳
種類：ミニウサギ
性格：臆病，きかん坊，
甘えん坊，寂しがり屋，
ぬいぐるみが大好き

作業療法科
福井 優

新任職員紹介

令和4年7月以降に入職したスタッフです。
よろしくお願いいたします。

令和4年7月

看護部
青木 洋子



令和4年8月

看護部
砂川 昌幸



診療案内

	月	火	水	木	金
精神科 心療内科	高沢院長	清水	高沢	三上	高沢院長
内科			佐藤 (診療応需)	佐藤 (診療応需)	
歯科			宮永		

診療時間

9:30～12:00(受付 8:30～11:30)
13:00～16:00(初診・予約診療のみ)

休診日

土・日曜日/祝祭日/
開院記念日(3/1)
盆休(8/13～8/15)
年末年始休(12/30～1/3)

予約受付

初診の方は事前の予約が必要です。ご予約のお電話は、平日のみ 9:00～11:30、13:00～16:30 に受け付けております。なお、他院からの紹介状がある方は必ずお持ち下さい。



汐ヶ崎病院
(代表電話)
029-269-2226

認知症疾患医療センター
(専用電話)
029-269-9017

汐ヶ崎ガーデン



季節ごとに変化する
院内の花壇。
寒さが近づいてくると
なんだか花たちも寒
そうに見えます。
花壇の変化で季節の
移り変わりを感じられ
ますね。

天気の良い日は
生き活きと感じら
れる池の花壇。
暖かい日は金魚
たちも元気に泳い
でいます。



表紙・解説



表紙写真：ママコノシリヌグイ

タデ科、イヌタデ属(またはタデ属)の一年草。湿地に生ずる。茎は1～2m4角で逆刺をもち、葉はほぼ三角形で円状の托葉がある。初夏、深紅色の小花を短穂状につける。

撮影場所：青森県西津軽郡深浦町

撮影条件：CANON EOS 1D, EF180mm
FL3.5L, MACRO USM.f11.1/250
Sec.ISO200

編集後記

今回でさざなみも第70号。第10号から編集委員としてかわらせていただき、15年も経ったんだなあ感慨深い気持ちです。あの頃、存在すらしていなかった娘も、もう中学生です。小学校6年間の思い出が詰まったランドセルを、うまく残す方法はないかと考え、かばん屋さんにリメイクに出してみましたところ、素敵な雑貨に生まれ変わりました。キーホルダーやペンケースを使うたび、小さなころの娘を思い出して、ほっこりしています。思い出がいつも近く感じられてお勧めです！



さざなみ委員：鈴木 彩